



発行所 国鉄労働組合
盛岡地方本部
発行者 齋藤庄司
編集者 沢田光広
TEL 019-622-5021
メールアドレス
numori@poem.ocn.ne.jp

2011.11.10
第1439号

大会 特集号

第67回定期地方大会

組織拡大に全力で取り組む

「3・11」大震災でも多くの報告や意見

地方本部は、第67回定期地方大会を10月16日・17日に青森市の浅虫温泉・南部屋で関係者約100人が参加の中で開催した。
経過・方針での討論では16人が発言し、3・11東日本大震災関係、厳しさを増す職場の労働条件、貨物会社の実態などの報告や不採用事件の終結問題、組織拡大の取り組みなどについて報告され議論が行われた。

そして、向かう一年間①不採用問題の終結を受け、その運動を地域の運動の中に生かしていく②安全・安定輸送を目指し、労働条件の改善と技術継承に取り組んでいく③安全で平和な社会の実現に向け、地域の仲間と共に政治闘争を強化していく④最重要課題の組織の拡大に全力をあげて取り組むことなどの意思統一を図った。
今大会は地方役員改選の大会で、齋藤庄司委員長をはじめ9人の役員が選出された。



大会は、約100人の参加で開催された(浅虫温泉・南部屋)

畠山、松橋氏 議長団で進行

大会は、13時に阿部副委員長の開会挨拶後、震災での組合員犠牲者に黙とうを捧げ、代議員43人中41人の出席を確認し大会の成立を宣言。議長に畠山孝代議員(北上工務分会)、副議長に松橋隆代議員(八戸工務分会)を選出、挨拶を受け議長が進められた。

最初に齋藤委員長が執行委員会を代表し挨拶。続いて江良實青森平和労組協議議長をはじめ多くの来賓の方々から激励と支援・連帯の挨拶を頂いた。その後、中堤執行委員がメッセージの紹介と日程を説明。菊池執行委員が大会期日の延期承認を提案、承認され、選挙管理委員会の設置を確認、協約・協定締結を

佐々木書記長が提案、承認。経過の報告と2011年度の運動方針の提案を書記長が行い経過の質疑へ、5人の発言と答弁で承認された。引き続き小林副委員長から決算報告、山川会計監査員の監査報告で決算を承認。国労会館などの事業報告が三浦職員から行われ、機関紙表彰に入り、最優秀賞の気仙沼地域分会など5分会を表彰。佐々木喜一選挙管理委員長(北上工務分会)から地方役員・委員の告示が報告され一日目を終了した。

二日目は、9時40分に再開し組織検討委員会答申が承認され、方針の討論に入った。討論では、11人が3・11大震災、労働条件、組織拡大、昇進試験問題などで発言。中間と佐々木書記長の集約答弁が行われ、拍手で方針が原案通り確立された。その後、小林副委員長が予算案を提案、承認され、組織検討委員会の設置を確認し昼食へ。

齋藤委員長あいさつ(要旨)

地方闘争委員会を代表し挨拶を申し上げます。
四半世紀に及ぶJR不採用問題は、雇用問題が残されていますが、混迷する政局や3・11東日本大震災、頑なに雇用を拒否するJR各社の現状の中、様々議論を経て闘争



の石油輸送は鉄道の優位性を知らしめた。上部機関とも連携し貨物会社の発展に取り組む。福島原発事故、脱原発の運動を進めたい。
安全・安定輸送確立と労働条件の改善に向け、安全総点検・仕事総点検運動を取り組み、若い社員への技術継承を図り、安心して働ける明るい職場づくりを先頭になり取り組んでいこう。新人事・賃金制度については、様々な問題点があり、東日本本部と連携しより良いものにするために改善に取り組む。

の石油輸送は鉄道の優位性を知らしめた。上部機関とも連携し貨物会社の発展に取り組む。福島原発事故、脱原発の運動を進めたい。
安全・安定輸送確立と労働条件の改善に向け、安全総点検・仕事総点検運動を取り組み、若い社員への技術継承を図り、安心して働ける明るい職場づくりを先頭になり取り組んでいこう。新人事・賃金制度については、様々な問題点があり、東日本本部と連携しより良いものにするために改善に取り組む。

大きく持ち、遠慮することなく、躊躇することなく、心配することなく、国労加入の取り組みに大きく踏み出すことをお願いしたい。
最後に選挙闘争、大震災により統一自治体選挙が統一しできなかった。青森県議の奈良岡克也さんが惜敗、矢野町議の山崎道夫さん、岩手県議の木村幸弘・久保孝喜さんが2度目の議席を確保、支援に感謝したい。来春の北上市議選に星敦子さんが3度目の議席確保にむけ立候補を予定、取り組みをお願いしたい。闘いの先頭たち頑張り決意を述べ挨拶とする。

厳しい職場実態、組織拡大 不採用事件の終結で討論

「方針の討論で11人が発言」

方針では、11人が発言した。要旨は次の通り。

◎岩脇勇代議員 (盛岡運輸区分会)
震災時の自宅待機などが続いた労働時間の扱いはどうなっているのか。
△震災時、東京などに3日間足止め、食事が出たが、後

日返納を求められた。
▽エルター社員雇用先、一カ月前の人が決まっていない。
◎照井幸男代議員 (北上駅連合分会)
震災時の気仙沼地域分会の情報を見て、機関紙の大切さを痛感している。
▽地方線、第3セクター鉄道など維持・存続を求めるシン

長、地方議員団(星敦子北上市議会市議会議員、山崎道夫矢野町議会議員)、佐々木香代子地本家族会会長
【メッセージ】
岩手県高等学校教職員組合、岩手県交通労働組合、全水道盛岡労働組合、全農林東北地方本部岩手県事務所、東北労働金庫労働組合岩手県支部、岩手県合同労働組合連合会、全労済労働組合岩手県支部、齋藤憲雄青森市議会議員、(国労関係は紙面上割愛)

◎立花寿代議員 (盛岡駅連合分会)
▽来年3月31日でもし券を廃止すると点呼で言われているが、点呼でも具体的内容がでない。エルター社員や転勤も出てくる本人希望の尊重と差別のない様申し入れてほしい。組合員も個人面談では希望は言っていないが、(次のページ続く)

ていこう

先日、「福島原発と再生可能エネルギー」をテーマにした講演を聞いた。講師は、「反核燃」闘争を闘い続けている青森の山田清彦さんだ。この講演で知ったことは、「原子力」核についてはほとんど知らなかったということだ。「核兵器」には関心を持ってたつもりでいるけれど、同じ「核」を扱う原子力発電所や核燃施設についてはどれだけの関心を寄せてきたのだろうか。原発に対する漠然とした不安を具体化しようとしたのか、自分自身が腹が立つ「福島第一原発からの放射能放出が続けている。スリーマイル島では16時間、チェルノブイリでは6日で止め得たものが、原子力技術が優秀な「東京電力」は7か月過ぎても止められない。こんな人達に原子力を動かす資格があったか疑問だ」という。指摘の通りだ。現在、六ヶ所再処理工場には240mの高レベル放射性廃液が貯蔵されている。この施設で事故が発生し放射能が拡散すれば、私たちに高濃度の放射能が降りてくることを意味する。しかもその施設の下には活断層が走っていることを考えると、その危険性は低くはないのだ。原子力発電は安くて環境に優しいというのも怪しい。小出裕章さん(京都大学助教)によると「開発や立地にも支出される費用や再処理の費用を加えると、火力・水力より高い。また、ウラン採掘から原子炉で使える燃料棒にする過程でかなりの二酸化炭素を排出する」という。原発事故の不安や恐怖は大きい。でも小出氏が言うように「起きた過去は変えられないが、未来は変えられる」のだ。その絶好の機会が今訪れている。(髭)

長、地方議員団(星敦子北上市議会市議会議員、山崎道夫矢野町議会議員)、佐々木香代子地本家族会会長
【メッセージ】
岩手県高等学校教職員組合、岩手県交通労働組合、全水道盛岡労働組合、全農林東北地方本部岩手県事務所、東北労働金庫労働組合岩手県支部、岩手県合同労働組合連合会、全労済労働組合岩手県支部、齋藤憲雄青森市議会議員、(国労関係は紙面上割愛)